
Express5800/R32Bb シリーズモデル

ファームウェア更新ガイド

(システム ROM: U68 v1.60)

[GZS-002371-001-00(sysrom) (更新ガイド)]
(第 1 版)

2026 年 3 月 第 1 版
© NEC Corporation 2026

目次

目次.....	2
1. 本書について.....	3
1.1. 本文中の記号について.....	3
1.2. 注意事項.....	4
2. 準備.....	5
3. 接続.....	6
4. 装置基本操作方法.....	7
4.1. iLO WEB インターフェース接続方法.....	7
4.2. リモートコンソール接続方法.....	10
4.3. ファームウェアバージョン確認方法.....	12
5. ファームウェア更新手順.....	13
5.1. 現在のファームウェアバージョンの確認.....	14
5.2. ファームウェア更新.....	15
6. 付録.....	21
6.1. HTML5 リモートコンソール.....	21
6.1.1. コンソールの起動.....	21
6.1.2. 本体装置の電源制御方法.....	22

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部について、許可なく複製・転載・翻訳・他形式・メディアへの変換を行うことは、禁止されております。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一お気づきの点や、ご不明の点がありましたら、弊社までご連絡ください。
4. 本書記載操作を行った結果の影響については、上記 3 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。
5. 本書は、本体装置の操作に熟知した管理者、または保守員向けに記載されております。本体装置の取り扱いや、各種 OS の操作、その他一般的かつ基本的な事柄につきましては記載を省いておりますので、あらかじめご了承ください。

© NEC Corporation 2026

日本電気株式会社の許可無く、本書の複製・改変などを行うことはできません。




1. 本書について

本書は、Express5800/R32Bb シリーズモデル製品向けのシステム ROM をオフラインで更新するための手引きです。

対象製品 (本体装置)	Express5800/R32Bb-E2
更新バージョン	システム ROM : U68 v1.60 (01/09/2026)
更新作業時間	大凡 40 分 (1 本体装置あたり)

1.1. 本文中の記号について

本書では、下記 3 種類の記号を使用しています。
これらの記号と意味をご理解になり製品を正しくお取り扱いください。

	製品の取り扱いや、OS、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や、特に注意すべき点を示します。
	製品や OS、ソフトウェアを操作する上で、確認しておく必要がある点を示します。
	知っておくと役立つ情報や便利な事柄を示します。

また、本文中に掲載している画面イメージは一例であり、対象製品及び対象製品の構成等に依り若干異なる場合がありますが、操作する上で支障のない差異ですので、予めご承知おきください。

1.2. 注意事項




システム ROM 更新に係る注意事項を記載します。

[注意事項 01]

本書記載の一連のファームウェア更新作業を終了しましたら、システムユーティリティの設定(BIOS/Platform Configuration (RBSU))をバックアップしてください。

そして、お客様にてバックアップファイルを大切に保管しておいてください。


バックアップ方法については、対象本体装置の「メンテナンスガイド (設定編)」を参照してください。



	NEC コーポレートサイト(https://www.support.nec.co.jp/) 「NEC サポートポータル内検索」より、以下の ID で検索してください。 R32Bb-E2 : 3170103113
	バックアップファイルは、マザーボード保守交換時にも必要になります。
	何世代も前のシステム ROM 環境下でバックアップしたバックアップファイルが、新しいシステム ROM 環境下でリストアできなくなる場合があります。

2. 準備

本作業では、本体装置以外に下記物品が必要となりますので、予めご準備ください。

Table 2-1 必要となる物品

物品	数量	備考
端末パソコン	1	本体装置に接続し、本体装置を操作するために使用します。  ご使用になるファームウェア更新モジュール(zip ファイル)を、予め当該端末パソコンのローカルディスクに収録し、圧縮解凍しておいてください。
ディスプレイ	1	本体装置に接続し、本体装置の画面として使用します。
LAN ケーブル	1	本体装置と端末パソコンを接続するために使用します。

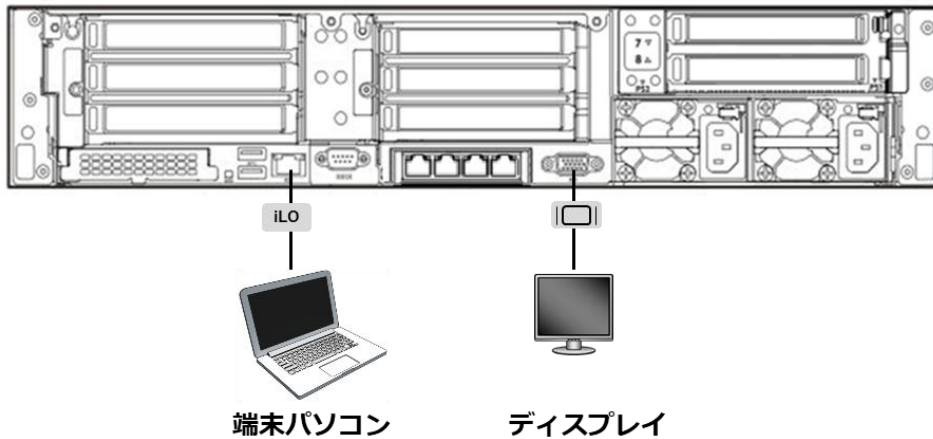
	<p>既に、本体装置のマネージメント専用 LAN コネクタ(iLO)を介した iLO Web インターフェースへの接続環境を構築されており、且つ下記物品或いは情報をご存じである場合、前記< Table 2-1 必要となる物品 > は不要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> - iLO Web インターフェースにアクセスする端末 - iLO Web インターフェースの User Name と Password - iLO Web インターフェースの IPv4 アドレスもしくは IPv6 アドレス
	<p>ご使用になるファームウェア更新モジュール(zip ファイル)を、予め iLO Web インターフェース アクセス端末のローカルディスクに収録し、圧縮解凍しておいてください。</p>

3. 接続

ご準備頂いた物品を下図のとおり本体装置に接続します。

Figure 3-1 接続図 (R32Bb-E2 モデル)

本体装置 (背面)



端末パソコンと本体装置は、LAN ケーブルで直結させてください。



既に、本体装置の管理専用 LAN コネクタ (iLO) を介した iLO Web インターフェースへの接続環境を構築されている場合、そのままの接続環境で構いません。

4. 装置基本操作方法

本書記載のファームウェア更新手順では、本体装置に接続した端末パソコンから本体装置の iLO Web インターフェース及び本体装置のリモートコンソールに接続して更新作業を行います。
また、更新対象ファームウェアバージョンを幾度か確認します。

ここでは、予め、iLO Web インターフェース接続方法、リモートコンソール接続方法、及びファームウェアバージョン確認方法を記載します。

4.1. iLO Web インターフェース接続方法

[step.a-01] iLO Web インターフェースへの接続情報の確認

A. iLO Web インターフェースの User Name と Password の確認

本体装置前面のスライドタグにある iLO ライセンスシール中に記載されている「User Name」と「Password」を控えます。



既に、iLO Web インターフェースの User Name と Password をご存じである場合、本作業は不要です。

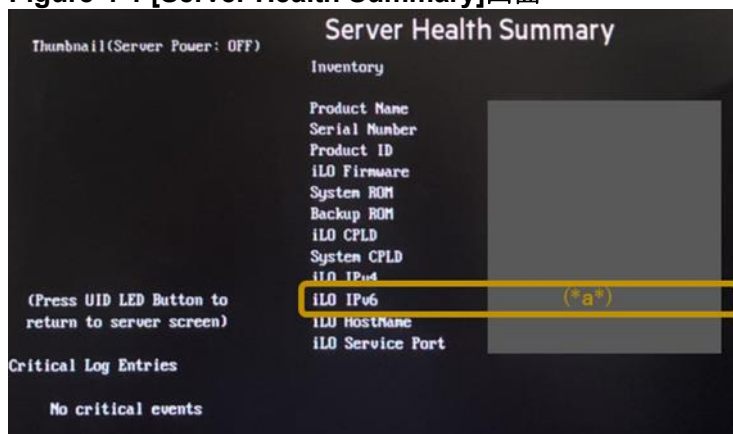






以降の作業で、この User Name と Password が必要になります。

B. iLO Web インターフェースの IP アドレス(IPv6)の確認

- ① 本体装置の電源コードをコンセントに取り付けます。
- ② **Server Health Summary** 画面をディスプレイに表示させます。
具体的には、前記①の後、本体装置前面の **POWER** ランプがアンバー色に点灯していることを確認した上で、**UID** スイッチを押します。
そうすると、ディスプレイに下図画面が表示されますので、下図(*a*)箇所の「iLO IPv6」のアドレスを控えます。

Figure 4-1 [Server Health Summary]画面



	<p>既に、iLO Web インターフェースの IPv4 アドレスもしくは IPv6 アドレスをご存じである場合、本作業は不要です。</p>
	<p>IPv6 の仕様として、セクションが"0"で始まる場合、"0"を省略して表示しても良いことになっています。 そのため、表示される IPv6 アドレスの各セクションが 4 桁ではない場合があります。その際は、各セクションが 4 桁となるように、セクションの先頭に"0"を付加して控えてください。</p> <p>(例) 表示値: fe80::9618:82ff:fe71:2b4 控え値: fe80::9618:82ff:fe71:02b4</p>
	<p>前記①の後、本体装置前面の POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯していた場合、本体装置の電源が ON されています。 その場合は、POWER スイッチを 4 秒以上押し続けて、本体装置の電源を OFF します (スタンバイ状態にします)。 本体装置の電源が OFF されると、POWER ランプがアンバー色に点灯します。</p>
	<p>以降の作業で、この IPv6 アドレスが必要になります。</p>

[step.a-02] iLO Web インターフェースへの接続とログイン

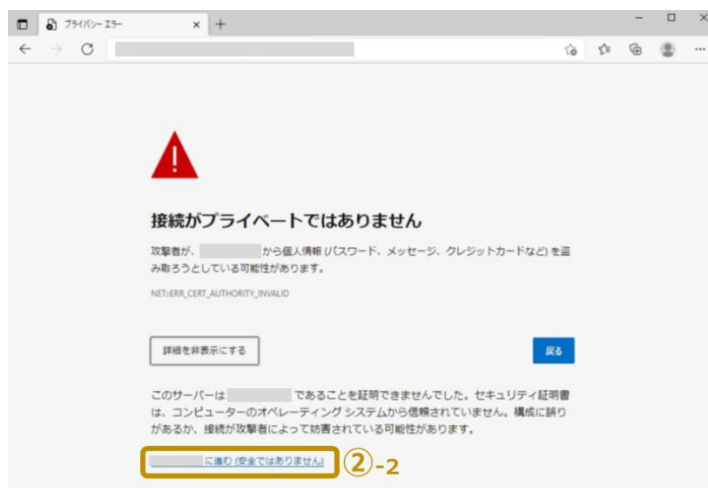
A. iLO Web インターフェースへの接続

- ① 端末パソコンにて Web ブラウザ (Microsoft Edge 等) を起動し、前記作業で控えておいた iLO Web インターフェースの IP アドレスをアドレスバー (①) に入力します。

例) [https://\[abcd::efgh:ijkl:mnop:qrst\]/](https://[abcd::efgh:ijkl:mnop:qrst]/)

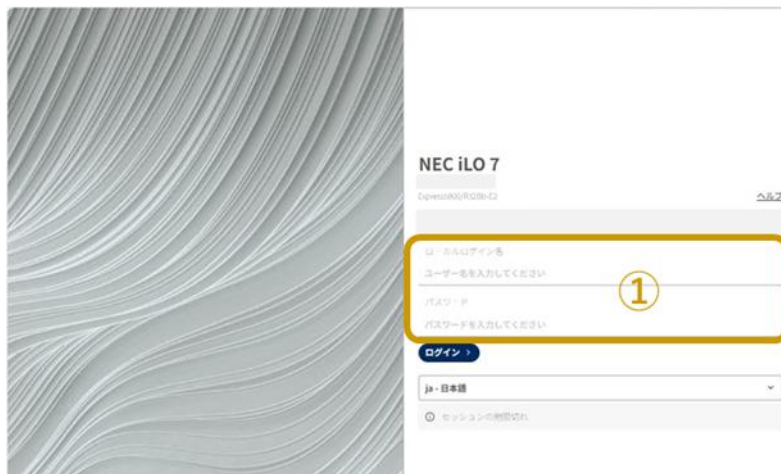


- ② セキュリティ警告が表示された場合は、上記画面の「詳細情報」(②-1) をクリックします。そうすると、下記画面表示になりますので、「xxxx に進む (安全ではありません)」(②-2) をクリックしてください。



B. iLO Web インターフェースへのログイン

iLO Web インターフェースに接続できると下記画面が表示されますので、前記作業で控えておいた iLO Web インターフェースの **User Name** と **Password** を①箇所に入力し、「ログイン」ボタンを押します。



ログインに成功すると、下記画面に切り替わります。



4.2. リモートコンソール接続方法

[step.b-01] リモートコンソールの起動

iLO Web インターフェースのナビゲーションペインにて[ホスト] (①)をクリックし、ホスト画面にて[リモートコンソール] (②)をクリックします。

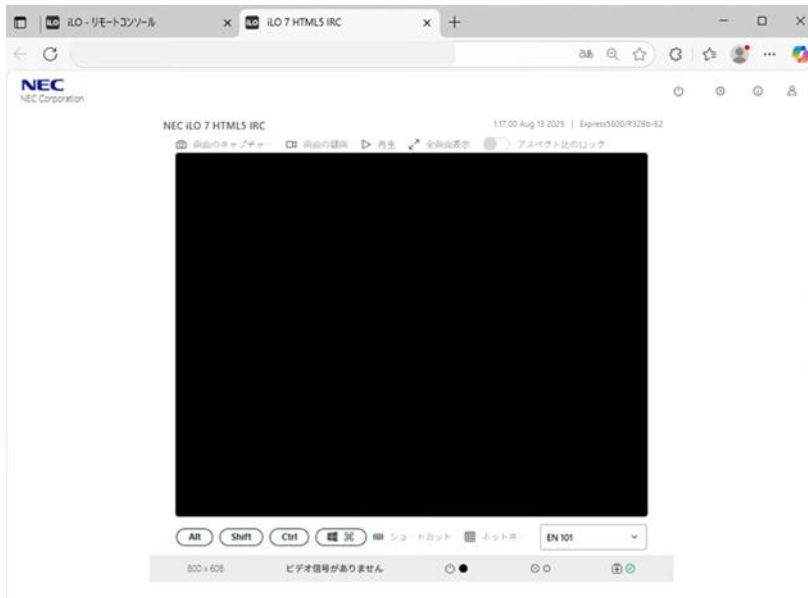


そして、下図リモートコンソール画面にて、[HTML5 コンソールの起動] (③)をクリックします。



そうすると、Web ブラウザ(Microsoft Edge 等)の別タブに、下図コンソールが表示されます。

[HTML5 リモートコンソール]



4.3. ファームウェアバージョン確認方法

[step.c-01] ファームウェアバージョンの確認

iLO Web インターフェースのナビゲーションペインにて[ファームウェア] (①)をクリックし、ファームウェア画面にて[ファームウェアインベントリ] (②)をクリックします。



そして、下図ファームウェアインベントリ画面の③箇所にて、各種ファームウェアバージョンを確認できます。



更新対象ファームウェア名とデバイスの対応は下表の通りです。

ファームウェア名 (*a)	対応デバイス	備考
System ROM	Mother Board (System ROM)	システム ROM
(*a) 上図③箇所の「ファームウェア名」欄に表示される文字列の一部です。		

5. ファームウェア更新手順

本体装置にインストールされているファームウェアの更新方法を記載します。




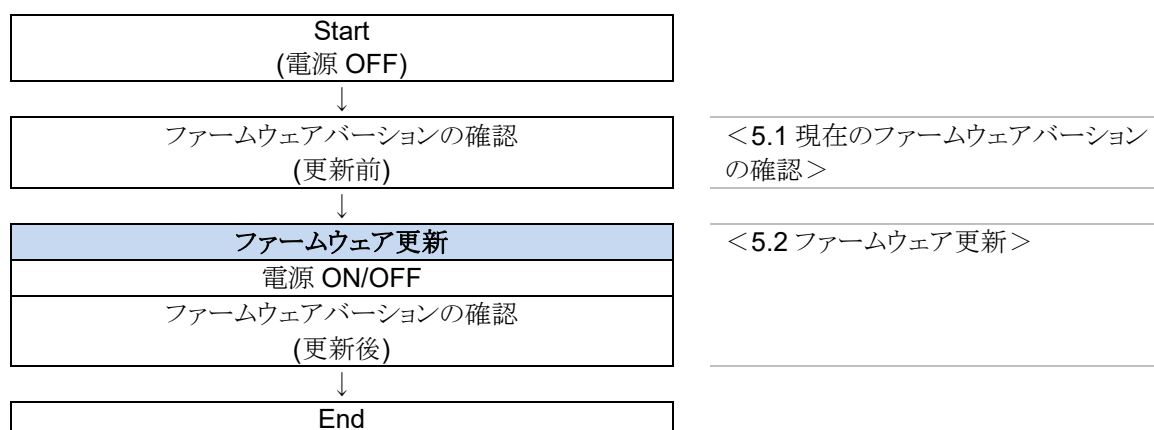
 重要	<p>本作業を行う前に、本体装置の電源が OFF になっていることを確認してください。 具体的には、本体装置正面の POWER ランプがアンバー色に点灯していることを確認してください。</p> <p>もし、本体装置の電源が ON されているならば、本体装置の電源を OFF してください。</p>
 ヒント	<p>本体装置の電源状態は、装置前面の POWER ランプで確認できます。 電源 OFF 状態ですと、POWER ランプがアンバー色に点灯します。 電源 ON 状態ですと、POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯します。</p>
 ヒント	<p>POWER ランプが消灯している場合、電源コードがコンセント或いは本体装置から外れている可能性がありますので、ご確認ください。</p>

Figure 5-1 ファームウェア更新手順フロー



5.1. 現在のファームウェアバージョンの確認

下記手順に従って、今現在、本体装置にインストールされているファームウェアバージョンを確認し、下記<Table 5-1 ファームウェアバージョン表>の「現在のバージョン」欄に記載します。

Table 5-1 ファームウェアバージョン表

ファームウェア名	現在のバージョン	更新バージョン	更新要否
System ROM		U68 v1.60 (01/09/2026)	

現在のファームウェアバージョンが、[上表「更新バージョン」欄記載バージョン未満](#)である場合、ファームウェア更新が必要です。

- 上表記載の全てのファームウェアが更新不要であるならば、以上で、ファームウェア更新作業は終了です。
- 更新必要なファームウェアが1つ以上あるならば、<5.2 ファームウェア更新>以降の作業に進みます。

【ファームウェアバージョン確認手順】

[step.1-01] iLO Web インターフェースへの接続・ログイン

端末パソコンにて Web ブラウザを立ち上げ、本体装置の iLO Web インターフェースに接続・ログインします。

具体的な手順は、前記<4.1 iLO Web インターフェース接続方法>を参照してください。

[step.1-02] ファームウェアバージョンの確認

更新対象ファームウェアのバージョンを確認します。


具体的な手順は、前記<4.3 ファームウェアバージョン確認方法>を参照してください。


確認対象ファームウェアは下表の通りです。


ファームウェア名
System ROM

5.2. ファームウェア更新

本体装置にインストールされているファームウェアの更新方法を記載します。

 重要	<p>本作業を行う前に、本体装置の電源が OFF になっていることを確認してください。 具体的には、本体装置正面の POWER ランプがアンバー色に点灯していることを確認してください。</p> <p>もし、本体装置の電源が ON されているならば、本体装置の電源を OFF してください。</p>
--	---

 ヒント	<p>本体装置の電源状態は、装置前面の POWER ランプで確認できます。 電源 OFF 状態ですと、POWER ランプがアンバー色に点灯します。 電源 ON 状態ですと、POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯します。</p>
---	---

 ヒント	<p>POWER ランプが消灯している場合、電源コードがコンセント或いは本体装置から外れている可能性がありますので、ご確認ください。</p>
---	---

[step.2-01] iLO Web インターフェースへの接続とログイン

端末パソコンにて Web ブラウザを立ち上げ、本体装置の iLO Web インターフェースに接続・ログインします。

具体的な手順は、前記<4.1iLO Web インターフェース接続方法>を参照してください。

[step.2-02] ファームウェア更新 (システム ROM)

A. ファームウェアアップデートダイアログの表示

iLO Web インターフェースのナビゲーションペインにて[ファームウェア] (①)をクリックし、ファームウェア画面にて[ファームウェアインベントリ] (②)をクリックします。



そして、ファームウェアインベントリ画面にて、[ファームウェアのアップデート] (③)をクリックします。



そうすると、下図ファームウェアアップデートダイアログ **BOX** がポップアップ表示されます。

ファームウェアのアップデート ② ×

ファイルロケーション

ローカルファイル
 リモートファイル

ローカルファイルパス

Drop file here or browse

同様に、iLO レポジトリに保存

注意: データを失うリスクがあるため、インストールされたTPMまたはTMを使用しているソフトウェアをサスペンドするか、バックアップしてください。続行するには、[TPMオーバーライドの確認]チェックボックスを選択します。

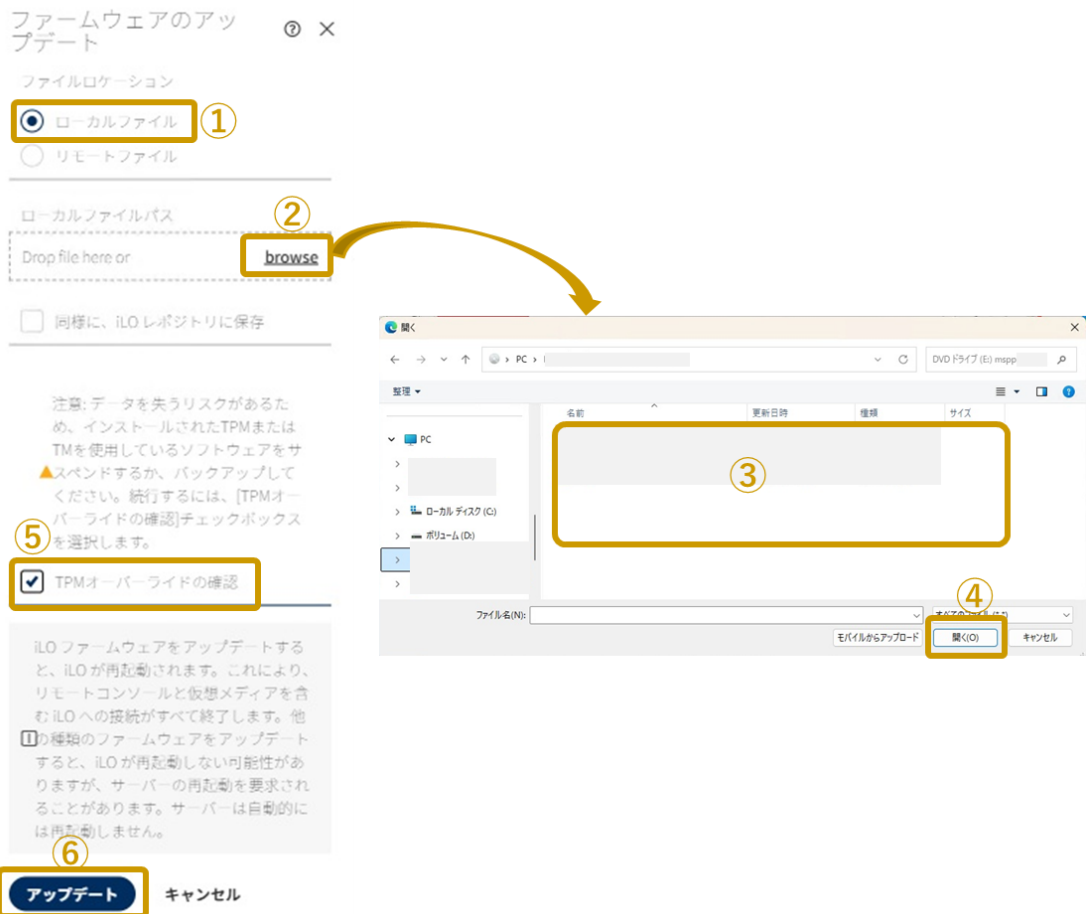
TPMオーバーライドの確認

iLO ファームウェアをアップデートすると、iLO が再起動されます。これにより、リモートコンソールと仮想メディアを含む iLO への接続がすべて終了します。他の種類のファームウェアをアップデートすると、iLO が再起動しない可能性があります。サーバーの再起動を要求されることがあります。サーバーは自動的に再起動しません。

アップデート キャンセル

B. ファームウェア更新ファイルの選択とファームウェア更新の実行

下図ファームウェアアップデートダイアログ **BOX** において、「ファイルロケーション」セクションにて[ローカルファイル] **①** を選択し、「ローカルファイルパス」セクションにて[**browse**] **②** をクリックします。



そうすると、「開く」ダイアログウィンドウがポップアップ表示されますので、
 予め端末パソコン内に収録及び圧縮解凍したファームウェア更新モジュール内の
 “**express5800_u68_sysrom_1p60_update_module¥package**” フォルダ配下に在る下記ファイルを選択し(③)、「開く(O)」ボタン(④)をクリックします。

ファームウェア	ファームウェア更新ファイル
システム ROM	OEM.U68_1.60_01_09_2026.fwpkg

さらに、ファームウェアアップデートダイアログ BOX において、「TPM オーバーライドの確認」項目(⑤)にレ印チェックを入れた上で、[アップデート](⑥)をクリックします。

ヒント

ファームウェア更新が開始されると、iLO Web インターフェースに、下図(A)のプログレスバーが表示されます。



ヒント

ファームウェアの更新時間は、大凡 5 分くらいです。

ヒント

ファームウェア更新が完了すると、iLO Web インターフェースに表示されていた「ファームウェア更新プログレスバー」(A)が消え、ファームウェア更新完了を知らせる下図(B)のようなメッセージが表示されます。



[step.2-03] リモートコンソールの起動

ファームウェア更新が完了しましたら、iLO Web インターフェースからリモートコンソールを起動します。具体的な手順は、前記<4.2 リモートコンソール接続方法>を参照してください。

[step.2-04] 本体装置 電源 ON/OFF

A. 本体装置 電源 ON

本体装置の電源を ON します。
具体的には、下記何れかの操作を行います。

- 本体装置前面の POWER ボタンを押す。
- iLO Web インターフェースのナビゲーションペインにて[ホスト] (①)をクリックし、ホスト画面にて[電源制御] (②)をクリックする。その後、電源制御画面にて[電源オン] (③)をクリックする。



- リモートコンソール右上の電源アイコン (🔌) (①)をクリックし、プルダウンメニューから[電源オン] (②)をクリックする。




リモートコンソールでのその他電源操作については、<6.1.2 本体装置の電源制御方法>に記載しております。

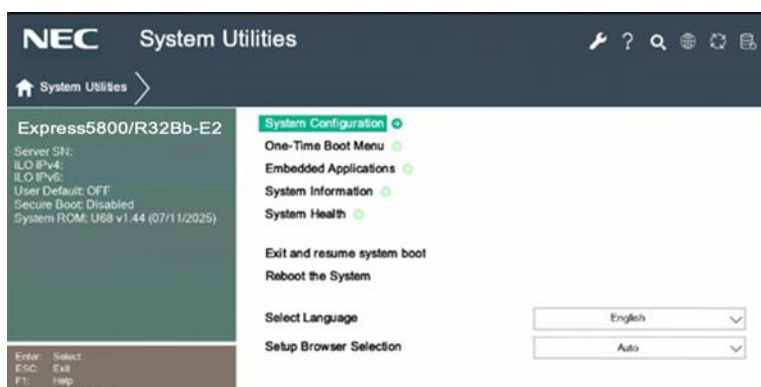
B. System Utilities の起動

本体装置 電源 ON 後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F9>キーを押して System Utilities を起動します。



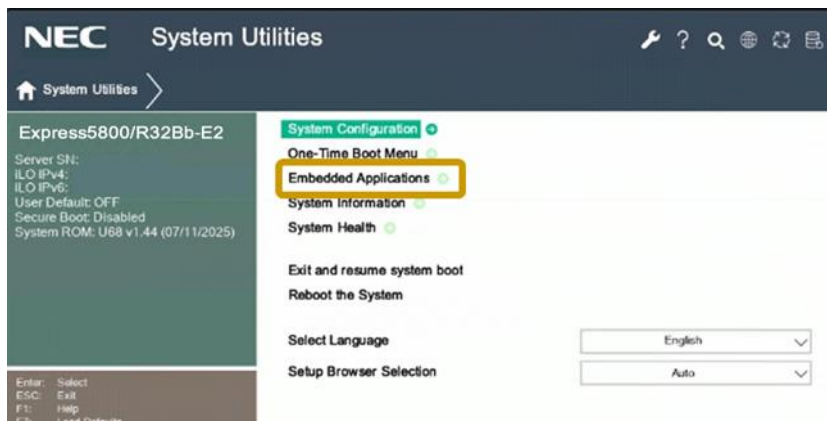
 ヒント
上記 POST 画面表示以前のタイミングで再起動する場合があります。これは、展開されたファームウェアの反映及び各種設定との整合を図るための正常な動作です。

System Utilities が起動すると、リモートコンソールが下記画面表示に切り替わります。



C. UEFI Shell の起動

リモートコンソールに表示されている System Utilities 画面において、「Embedded Applications」 → 「Embedded UEFI Shell」を選択します。



D. 本体装置 電源 OFF

リモートコンソールにて UEFI Shell が起動したら、下記コマンドを入力して、本体装置を電源 OFF します。

```
Shell> reset -s
```

```
NEC Embedded UEFI Shell v2.2. UEFI v2.100
Type 'help -b' for a list of available commands
Type 'help <command> -b' for help on the <command>
Type 'set -u pagebreak 1' to enable global output pagination (page breaks)

Press any key in 0 seconds for User Physical Presence.
User Physically Present: No!
Shell> reset -s
```

[step.2-05] 更新後ファームウェアバージョンの確認

更新対象ファームウェアのバージョンを確認します。
具体的な手順は、前記<4.3 ファームウェアバージョン確認方法>を参照してください。

確認するファームウェア及び期待バージョンは下表の通りです。

ファームウェア名	期待バージョン
System ROM	U68 v1.60 (01/09/2026)

- 確認したバージョンが上表「期待バージョン」であれば、正しくファームウェア更新ができました。以上で一連のファームウェア更新作業は終了です。
- 確認したバージョンが上表「期待バージョン」以外であれば、ファームウェア更新ファールを間違えた可能性があります。再度、前記<[step.2-01] iLO Web インターフェースへの接続とログイン>からやり直してください。

以上で、一連のファームウェア更新作業は終了です。

6. 付録

6.1. HTML5 リモートコンソール

6.1.1. コンソールの起動

iLO Web インターフェースのナビゲーションペインにて[ホスト] (①)をクリックし、ホスト画面にて[リモートコンソール] (②)をクリックします。

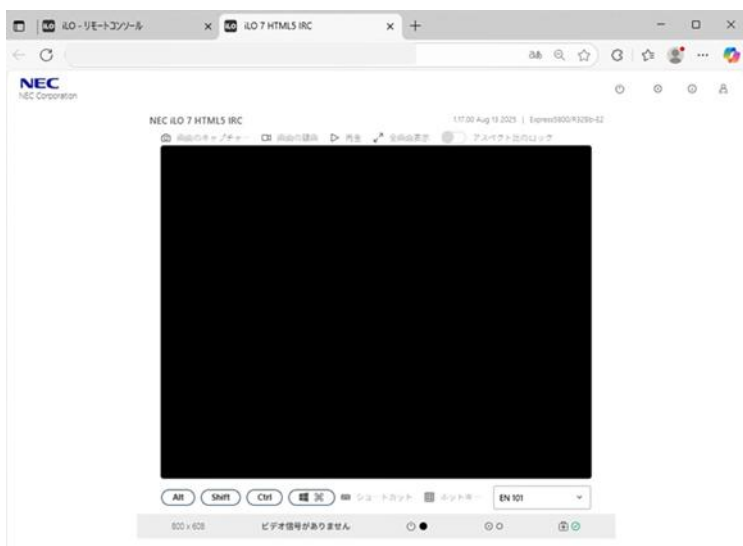


そして、下図リモートコンソール画面にて、[HTML5 コンソールの起動] (③)をクリックします。



そうすると、Web ブラウザ(Microsoft Edge 等)の別タブに、下図コンソールが表示されます。

[HTML5 リモートコンソール]



6.1.2. 本体装置の電源制御方法

リモートコンソール右上の電源アイコン (🔌) (①) をクリックすると、電源操作メニュー (②) がプルダウン表示されます。表示される電源操作メニューは、本体装置の電源状態に依り異なります。

[本体装置電源 OFF 状態のとき]



[本体装置電源 ON 状態のとき]



各電源操作メニューのアクションは下表の通りです。

本体装置電源状態	電源操作メニュー	アクション
OFF	電源オン	本体装置の電源を ON します。
ON	正常なシャットダウン	本体装置の電源を OFF しようとしています。 但し、実際に電源 OFF されるか否かは OS 設定等に依存します。
	強制電源オフ	本体装置の電源を強制的に OFF します。 その他手段で本体装置の電源を OFF できないケースのときのみ使用してください。
	電源再投入	本体装置の電源を強制的に OFF した後、再度本体装置の電源を ON します。 OS 上から本体装置を再起動できないケースのときのみ使用してください。
	リセット	本体装置を強制的に再起動します。 OS 上から本体装置を再起動できないケースのときのみ使用してください。

Express5800/R32Bb シリーズモデル
ファームウェア更新ガイド
(システム ROM: U68 v1.60)

2026 年 5 月 第 1 版

日 本 電 気 株 式 会 社

東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
TEL (03) 3454-1111 (大代表)

落丁、乱丁はお取り替えいたします。

© NEC Corporation 2026

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。